

学部等全体評価

総合政策学部

総合政策学部教員の授業に対する評価は、全体として見れば、比較的良好な水準である。また、個々の項目について見ても、ある程度のばらつきはあるものの、極端に低い評点、特徴的な記述は見られず、良好な水準にある。また、ほとんどの学生は、比較的理性的で冷静な評価をしている。学部として、特にとりあげるべき問題、組織的な対策が必要な構造的な問題もなかった。

今後、個々の教員が自らの授業に対する評点・記述だけでなく、授業中の質疑や試験・レポートに示された学生の理解度を参考に、また、個々の授業の持つ特性を十分に考えて、必要な改善・工夫をおこない、授業の質の向上に努めることとなる。授業の改善に際しては、評点・記述にむやみに迎合することは避け、大学の講義に求められる最低限度の学術水準は維持するように努める。